

松尾 有里子 Yuriko MATSUO

2016年7月1日現在

現在までの研究テーマ等

- ・本研究所での個人研究課題：オスマン帝国近代の女性と教育（社会史的アプローチから）
- ・専門分野 イスラーム史・オスマン帝国史
- ・取り組んで来たテーマ
 - ・オスマン帝国前近代（16世紀～17世紀）におけるイスラーム知識人（ウラマー）とその階層化
 - ・オスマン帝国前近代バルカンにおけるイスラーム化（ボスニア・ヘルツェゴヴィナを中心に）
 - ・オスマン帝国近世～近代（17世紀～19世紀）の社会変容 ウラマー家系を中心に
 - ・オスマン帝国近代における女性と出版メディア

略歴

- 1990.3 上智大学文学部史学科（西洋史専攻）卒業
- 1994.3 お茶の水女子大学人文科学研究科修士課程（東洋史専攻）卒業
- 1997.3 お茶の水女子大学人間文化研究科博士課程（比較文化学専攻）単位取得退学
- 1997.4 （財）東洋文庫奨励研究員（～1998.3）
- 2001.3 博士（人文科学）学位取得（お茶の水女子大学）
- 2012.6 お茶の水女子大学リーダーシップ養成教育センター 研究機関講師（～2015.3）

教育活動

- 2000.4 お茶の水女子大学文教育学部 非常勤講師（～2001.3）
- 2001.4 東京都立科学技術大学 非常勤講師（～2007.3）
- 2001.4 和洋女子大学国際社会学科 非常勤講師
- 2002.4 お茶の水女子大学文教育学部 非常勤講師（～2003.3）
- 2006.4 上智大学外国語学部 非常勤講師（～2009.3）
- 2009.4 お茶の水女子大学グローバル文化学環 非常勤講師（～2010.3）
- 2010.4 慶應義塾大学文学部 非常勤講師（～2014.3）
- 2010.4 和光大学表現文化学部 非常勤講師（～2014.3）
- 2013.3 お茶の水女子大学グローバル文化学環 非常勤講師（～2014.3）
- 2014.3 お茶の水女子大学文教育学部 非常勤講師（～2015.3）
- 2015.4 お茶の水女子大学グローバル文化学環 非常勤講師（～2016.3）
- 2015.4 慶應義塾大学文学部 非常勤講師

主要業績

・著作（共著）

- 松尾有里子「近世オスマン帝国におけるウラマーとその家系形成」東京外国語大学アジア・アフリカ研究所編、『近世イスラーム国家史研究の現在』東京外国語大学アジア・アフリカ研究所、2015.6.
- 松尾有里子「オスマン朝「軍人」法官の実像-16世紀中葉以降の二つの顔をめぐって-」鈴木董編『オ

スマン帝国史の諸問題』山川出版社、2012.3.

松尾有里子「ウラマー」「軍人・エリート・女たち」小杉泰・江川ひかり編『ワードマップ・イスラーム
社会生活・思想・歴史』新曜社、2006.3.

・学位論文

松尾有里子「オスマン朝におけるウラマーとその組織化」、お茶の水女子大学、2001.3.

・学術論文

松尾有里子「オスマン帝国近代における「女性」誌の誕生（1869 - 1909）」『人文科学研究』12号、
2016.3. http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/bitstream/10083/58470/1/24_matsuo_269_281.pdf

松尾有里子「オスマン朝におけるマドラサ制度の発展：16世紀後半から17世紀前半のバルカンの事例
を中心に」『東洋文化』91号、2011.3.

松尾有里子「16世紀後半のオスマン朝におけるカザーの形成とカーディー職-『ルメリ・カザスケリ登
録簿』の分析を通じて-」『史学雑誌』108-7号、1999.7.

松尾有里子「オスマン朝中期におけるミュラーゼメット（教授・法官候補）制度-『ルメリ・カザスケ
リ登録簿』を手がかりに-」『日本中東学会年報』11号、1996.3.

松尾有里子「オスマン朝中期におけるウレマー-専門的職業ヒエラルヒーの形成とその担い手たち-」『お
茶の水史学』39号、1996.11.

・学会発表

松尾有里子「近代オスマン帝国における「女性」雑誌と出版文化」日本中東学会第30回大会、2014年
5月11日、東京国際大学

松尾有里子「16-17世紀のオスマン朝治下のボスニア・ヘルツェゴヴィナ-サラエヴォとモスタル法廷の
記録を中心に-」日本中東学会第29回大会、2013年5月12日、大阪大学

松尾有里子「近代オスマン帝国における女子高等教育-青年期の女性教育への試みをめぐって-」日本オリ
エント学会第54回大会、2012年11月20日、東海大学

松尾有里子「近代オスマン帝国における女子教育制度の導入」日本オリエント学会第53回大会、2011
年11月6日、ノートルダム清心女子大学

Yuriko MATSUO “ Ottoman Kadis in Local Administration(1550-1600).”International Committee of
Pre-Ottomanand Ottoman Studies, (CIEPO. 2009) August 25, 2009, Bishkek (Kirghiz)

Yuriko MATSUO “ Rumeli sadareti mahkemesi in the Ottoman Legal System : 1543-1590,” An
International Symposium of the Islamic Area Studies Project, The Dynamism of Muslim Societies
-Toward New Horizons in Islamic Area Studies-, October 5 to 8, 2001, The Kazusa Ark, Kisarazu,
Chiba, Japan

松尾有里子「オスマン帝国におけるイスラム法廷とカーディー制度（-ルメリ・カザスケリ法廷の事例を
中心に-）日本中東学会第16回年次大会 2000年5月13日、北海道大学

松尾有里子「16世紀末期のオスマン帝国におけるカザーとカーディー-ウスキュダル法廷台帳の記録を
中心に-」日本中東学会第14回年次大会 1998年5月10日、四天王寺国際仏教大学

松尾有里子「16世紀後半のオスマン朝におけるカザーの形成について」日本オリエント学会第39回大

会 1997年10月26日、中近東文化センター

・ **事典項目、書評等**

松尾有里子「イスタンブルのメドレセ学生たち」『アジア遊学 49 イスタンブール-宗教と民族が交錯する国際都市-』勉誠出版、2003.

松尾有里子「オスマン朝スルタンの祝祭」『地中海の暦と祭り』刀水書房、2002.

松尾有里子「ミユラーゼメト制度」「シェイヒュルイスラム」「カザスケル」『新イスラム事典』平凡社、2002.

松尾有里子「ウラマー（歴史におけるウラマー）」「シェイヒュルイスラーム」「カザスケル」「カーディブ」「イルミエ」『岩波イスラーム辞典』岩波書店、2002.

松尾有里子「シェイヒュルイスラーム」「カザスケル」「エブススワード・エフェンディ」「カドゥザーデ」『角川世界史事典』角川書店、2001.

松尾有里子 批評と紹介「L.T.ダーリング著 歳入の増収策と支配の正当性」『東洋学報』第80巻第1号、1998.

外部資金

- ・平成24年度科学研究費「近代オスマン帝国における女子教育」基盤研究C(番号24520797)(~2017.3)
- ・「オスマン帝国治下におけるバルカン社会の共存のシステム」松下国際財団、1998年4月(1998.4~1999.3)